

5 今年度の重点課題(学校アクションプラン)

平成24年度 高岡工芸高等学校アクションプラン -1-		
重点項目	学習活動	
重点課題	自ら学ぶ学習態度の育成とわかる授業の推進、基礎学力の定着	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科の授業において、自ら学習する態度に欠ける生徒がいる。各科目の授業においては、生徒の実態を踏まえながらその指導方法の工夫・改善を進めて分かりやすい授業の推進を図るとともに、生徒の自主的な学習態度の育成と学習意欲の向上を図る必要がある。</li> <li>中学校程度の基礎的な計算力が不足していることから、特に専門教科の授業について内容を十分理解できない生徒が多数いることから、中学校までの基礎的な計算力を確実に身に付けさせる必要がある。</li> <li>各種検定や資格の取得に向けた補習を実施するなどして、生徒の資格取得への積極的な取り組みを促し、自ら学習する態度の育成を図っている。</li> </ul>	
達成目標	互見授業と授業アンケートの実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>年1回以上他の教員の授業を見学する。</li> <li>担当授業の生徒に対して、年1回以上理解</li> </ul>	基礎計算力テストの実施と分析 <ul style="list-style-type: none"> <li>年2回(年度当初、年度末)にテストを実施する。</li> </ul>
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の教員の授業を見学することにより、自身の授業を改善する。</li> <li>生徒に対する授業アンケートにより、生徒自身に学習態度の振り返りをさせるとともに、指導内容の理解度や意欲を把握する。これによりより分かる授業に改善する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度当初の基礎計算力テストの結果を踏まえ、正答率の低い問題について関係教科で連携し、対策を講じる。</li> </ul>

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)

平成24年度 高岡工芸高等学校アクションプラン -2-		
重点項目	学校生活	
重点課題	安定した生活習慣の形成	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度、寝坊や怠惰による遅刻は205回(一人当たり年間0.27回)で、前年度比ではほぼ横ばいであったが、複数回遅刻している生徒が16人、のべ50回で全体の25%を占めた。遅刻が習慣化している生徒に対してより安定したより良い生活習慣を身につけさせる必要がある。</li> <li>昨年度、登下校時の交通事故は15件で、昨年度より7件の増となった。ほとんどが自転車の事故とはいえ重大な事故につながることで容易に予想されるので、運転時の交通ルール徹底や危険箇所を提示し、より安全な登下校を促すよう指導する必要がある。</li> </ul>	
達成目標	寝坊や怠惰により遅刻する生徒を減らす <ul style="list-style-type: none"> <li>1人当たり年間0.25回以下(のべ200回以下)</li> <li>複数回遅刻する生徒の減少(15人以下)</li> </ul>	登下校時の交通事故の減少  年間5件以下
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数回遅刻した生徒に対し、面接指導や奉仕活動などを通して、生活習慣の改善を図る。</li> <li>「あいさつ運動」の継続実施。</li> <li>ポスターなどによる啓蒙活動の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度完成した地図上で示す交通事故ハザードマップを用いて、危険箇所を生徒に知らせる。</li> <li>自転車点検を実施し、整備された自転車で安全に通学するよう指導する。</li> <li>警察者などから講師を招き、交通安全教室を実施し、意識の高揚を図る。</li> <li>ポスターなどによる安全意識啓発。</li> </ul>

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)

5 今年度の重点課題(学校アクションプラン)

平成24年度 高岡工芸高等学校アクションプラン -3-		
重点項目	進路支援	
重点課題	生徒各人が、学校生活をとおし、よりよい勤労観・職業観を身につけ、主体的に進路を選択し決定できる力をはぐくむ。	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>各方面の協力を得て実施した2学年の「インターンシップ」に関するアンケートの結果より、「進路を考える良い機会になった」と回答した生徒の割合は、平成22年度 約82% 平成23年度 約88%であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度、就職した生徒のうち専門性を生かせる企業に就職した生徒は約93%(22年度80%)、進学した生徒のうち専門性を深めるために関連分野の大学・短大へ進学したものは70%(22年度80%)、専門学校では50%(22年度42%)であった。</li> </ul>
達成目標	インターンシップの満足度(2学年)	専門性を生かせる進路の選択
	88%以上	就職90%以上、進学(4大、専門学校合わせて)70%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校の2学年で全員インターンシップ実施は、ほぼ定着してきている。今年は、内容の充実を図りたい。学年と協力し、各学科教科の専門性を生かした実習先の確保に努め、生徒たちが、インターンシップを通して、より専門科目に興味を持ち将来の進路選択できるように指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年時には、ガイダンスやホームルーム等を利用、2年時にはインターンシップや実習等の授業で、3年時には課題研究等の授業で、本校の地域社会へ貢献や卒業生が工業の現場で活躍していることを紹介し、専門性を生かせる進路を考える機会を与えてよりよい進路選択や進路先を決定できるようにする。</li> </ul>

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)

平成23年度 高岡工芸高等学校アクションプラン -4-		
重点項目	特別活動	
重点課題	学校行事および部活動の充実	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動会、尚美展、球技大会などの学校行事の満足度アンケートの結果は、概ね80%を超えている。しかし、代議員による生徒議会を通じて、生徒の意見を聴取して活動に反映させるなどの、積極的な取り組みは十分とはいえない現状にある。</li> <li>部活動等への参加は活発で、年度当初の特別活動加入率(生徒会を含む)は95%(兼部を含む延べ人数)を超えている。しかし、中途退部や自主性が低いなどの悩みを抱えている部も散見される。</li> </ul>	
達成目標	主たる活動において満足と回答する生徒の割合	部活動継続率
	80%以上	85%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>各行事ごとに、アンケートを行い、満足度をはかる。また、代議員を通じて、事前アンケートを実施し、生徒の意見集約に努め、生徒の積極的な行事への参加と生徒議会の活性化を図る。</li> <li>教職員の体制を常に検証して、連携の強化と協力体制の維持に努める。</li> <li>各集会や生徒会便りを通じて、大会日程および成績の広報に努め、学校全体の雰囲気や生徒のやる気を高める。</li> <li>各部の部員数調査を学期毎に行い継続率を調べる。そして、各顧問と連携を図りながら、部活動の活性化と充実に努める。</li> </ul>	

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)

5 今年度の重点課題(学校アクションプラン)

平成24年度 高岡工芸高等学校アクションプラン -5-	
重点項目	その他
重点課題	PTA役員会の活性化
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA活動を煩雑で面倒なものと捉えている保護者が多く、クラス役員でも全く参加されない方もおられる。</li> <li>・PTA各行事への一般会員の参加が少ない。</li> <li>・生徒を通じてPTA行事の案内をしているが、保護者に渡らない場合がある。</li> </ul>
達成目標	役員会の出席率
	65%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員間の連絡を密にして、各会合への参加を促すとともに、参加しやすく話しやすい持ち方を検討する。</li> <li>・PTA通信やホームページなどを利用して活動を積極的に発信する。</li> <li>・一斉メールを活用した情報の共有を推進する。</li> <li>・役員相互の和気あいあいとした雰囲気の醸成に努める。</li> <li>・役員会に参加しやすい時間帯、曜日設定について検討する。</li> </ul>

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)

